

地域防災における男女共同参画を推進するための事業【西宮市】

個別事業費	250 千円
交付金額	125 千円

地域の実情と課題

西宮市は、平成31年に策定した西宮市男女共同参画プラン（女性活躍推進計画含む）に基づき、女性活躍推進、男女共同参画社会の実現のため様々な施策を推進している。注目したい点に女性の地域防災活動への参画が少ないことが挙げられる。令和5年度に実施した西宮市市民意識調査において「地域の防災活動に取り組んでいる」と回答した女性の割合は13.6%であり低い水準である。一方、同調査において「今後の地域の防災活動に取り組んでみたい」と回答した女性62.9%、男性56.7であった。令和6年には西宮防災リーダーの会が発足し、活動を実施しているが当会に占める女性会員の割合が29.6%であることから、女性加入者の増加とともに、男女共同参画の視点をもった地域防災におけるリーダーの育成も必要である。

事業の特徴

- ① 男女共同参画視点の防災研修会
 防災における性別をはじめとした特定の属性に固有なニーズについて研修を開催した。企画に際しては、参加しやすいテーマを設定し、関心を引きやすいように工夫した。西宮防災リーダーの会からも参加者を募り、地域防災の担い手でもある中心人材に、男女共同参画視点の防災活動の意義を啓発するとともに、当該団体への女性の参加を促す機会を設けた。また団体育成の観点からリーダーの会等と協働で防災ワークショップも開催し平時から男女共同参画視点の防災をアウトプットする場を開催した。
- ② アウトリーチ型防災講座
 市内における母親や子どもが多く集まる施設を中心に、被災時に女性や子どもの特有のニーズを学ぶ機会をつくり、自助の備えと地域防災への参加を啓発するとともに、地域防災人材の掘り起こしを目指した。

事業の効果

男女共同参画部局だけでなく、防災部局と連携して行うことで広く男女共同参画視点の防災について知ってもらうことができ、その結果「地域防災において女性の参画が重要」と選択した割合が高くなった。

目的・目標

地域防災の担い手の掘り起こし、防災に関わる女性の増加ならびに男女共同参画の視点をもった地域防災におけるリーダーの育成を目的に実施する。

	目標・KPI	目標	実績	評価
事業目標	西宮防災リーダーの会の女性会員の割合	35% (アウトカム)	25.9% (R8年3月時点)	未達成
事業KPI	受講者の中で地域防災において女性の参画が重要であると考える割合	90% (アウトカム)	95.4% (R8年3月時点)	概ね達成

連携団体

西宮市内活動NPO法人および一般社団法人、社会福祉協議会、子育て広場

今後の課題

「地域防災における女性の参画が重要」と答える割合は高い水準ではあるが、防災を担う人材になかなかつなげられていない。会員数を増加のための協働体制が十分に構築できていなかった。防災リーダーの会の女性会員の増のために、当該団体とは令和8年度はより踏み込んだ関係性の構築と連携を目指して、中長期的な取組を模索していく必要がある。

事業の概要

地域防災における男女共同参画を推進するための事業

地域防災の担い手の掘り起こし、防災に関わる女性の増加ならびに男女共同参画の視点をもった地域防災におけるリーダーの育成を目的に実施する。

①-1 男女共同参画視点の防災研修会

令和8年1月31日および2月14日 14:00~16:00

場所：西宮市男女共同参画センター ウェーブ

参加者：延べ35名

実施内容：2部構成で実施。各回、リーダーの会活動案内を展開
 第1部は避難袋の作り方、家庭内におけるニーズの違い
 第2部は外出時や職場の備え、帰宅困難の知識等

①-2 商業施設における防災ワークショップ

令和8年3月8日 10:30~15:00

場所：阪急西宮ガーデンズ

② アウトリーチ型防災講座

令和7年6月~令和8年1月（11回開催）

場所：西宮市内（児童館等）

参加者：131名

実施内容：家庭内での防災対策、地域の防災事情等



結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	評価
事業目標	西宮防災リーダーの会の女性会員の割合	35% (アウトカム)	25.9% (R8年3月時点)	未達成
事業KPI	受講者の中で地域防災において女性の参画が重要であると考える割合	90% (アウトカム)	95.4% (R8年3月時点)	概ね達成